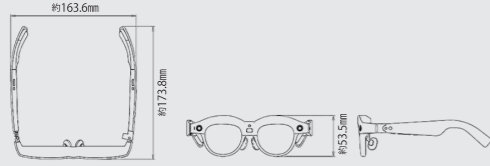


■仕様表



透過型XRグラス

商品名称	dynaEdge XR1 (型番 Q7001N)
ディスプレイ	両眼カラー、左右各1,920×1,080ピクセル 表示モード(※1):ミラーモード、サイドバイサイドモード 視野角:対角45°、輝度:最大約1,000nits(※2)(自動調整対応) *LetinAR社の PinTILT™方式の薄型ミラー光学モジュール
カメラ	13メガピクセル、オートフォーカス対応
コンピュータービジョンカメラ	モノクロステレオカメラ(※3)
スピーカー	ステレオスピーカー
マイク	ビームフォーミング、ノイズリダクション対応
センサー	3DoF
インターフェース	USB-C™×1
ボタン	マルチファンクションボタンG、Lボタン、Rボタン、OK/ESCボタン
主な付属品	USB-C™ケーブル、鼻あて(交換用)、シェード(※4)、 インサートレンズ用フレーム(※5)、クリーニングクロス、キャリングケース、他
質量	約89g(※6)
サイズ	(広げた状態)約163.6mm(W)×約53.5mm(H)×約173.8mm(D)

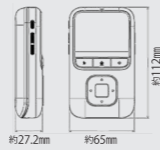


(畳んだ状態)約153.5mm(W)×約53.5mm(H)×約47mm(D)



XRコントローラー

商品名称	dynaEdge C1 (型番 Q7002N)
SoC	オクタコア ARMプロセッサ
スピーカー	モノラルスピーカー
センサー	加速度センサー、ジャイロセンサー
インターフェース	USB-C™×2(※7) (USB-C™ 端子1(XRグラス接続)/USB-C™ 端子2(電源接続)(※8))
通信機能	Wi-Fi 6(※9)(※10) Bluetooth® 5.2(※10)(※11)
操作	ボタンでの操作、タッチパッド操作、 モーショントラッキング操作(※12)、ハンドトラッキング操作(※13)
ボタン	方向ボタン(上下左右)、OKボタン、ホームボタン、戻るボタン、 マルチファンクション×3、 操作モード切替ボタン、音量ボタン(上)、音量ボタン(下)、電源ボタン
バッテリー	内蔵(※14)
主な付属品	USB-C™ケーブル、他
質量	約222g(※6)
サイズ	約65mm(W)×約112mm(H)×約27.2mm(D)(突起部を含まず)



※1.ミラーモードとは、左目と右目に同じ映像を映すモードです。コンピューターは、XRグラスを1,920×1,080ピクセルのディスプレイとして認識し、1,920×1,080ピクセル全体の映像を、左目と右目の両方に映します。サイドバイサイドモードとは、左目と右目に異なる映像を映すモードです。コンピューターは、XRグラスを3,840×1,080ピクセルのディスプレイとして認識し、左半分の映像を左目に、右半分の映像を右目に映します。※2.XRコントローラーに接続して使用する場合に、輝度設定を変更して最大輝度約1,000nitsまで設定することができます。※3.別途ソフトウェア開発が必要となります。※4.外部からの光を遮断し、XRグラスの表示をより鮮明に見るためのパーツ。XRグラスに着脱可能。※5.視力矯正用フレーム。XRグラスに装着可能。※6.質量は平均値。主な付属品は含まれません。※7.すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。※8.USB Power Delivery規格に準拠した最大18Wの充電に対応。一部のUSB Type-C™充電器は、本製品と互換性がない場合があります。※9.Wi-Fi 6(IEEE802.11ax)対応。IEEE802.11a/c/a/b/g/n準拠。5GHz帯無線LANは、WS2/WS3/WS6に対応。WS2/WS3は電波法令により屋外で使用することはできません。2.4GHz帯無線LANで使用できるチャンネルは1~13chです。※10.無線通信距離は、周辺の電波環境、障害物、設置環境、ソフトウェア等により影響を受ける場合があります。※11.すべてのBluetooth®対応機器の動作を保証するものではありません。※12.モーショントラッキング操作では、XRコントローラー自体を動かしてポインターを動かすことができます。※13.シェードを取り付けている場合など、XRグラスのコンピュータービジョンカメラが覆われていると機能しません。また、極端に明るい環境や暗い環境では、正常に動作しない場合があります。※14.本製品にはバッテリーパックが内蔵されていますが、お客様ご自身の取り外しや交換はできません。

●環境条件は 温度5~35℃、湿度20~80%(ただし、結露しないこと)となります(本温度範囲は、性能を保証するものではありません)。●本製品は防水には対応していません。●詳細仕様は、今後変更する可能性があります。●画面はハメコミ合成です。●各画像はイメージです。実際とは異なる場合があります。●AIが生成する情報は、学習データに基づく予測や推論であり、必ずしも完全な正確性を保証するものではありません。重要な意思決定を行う際は、必ず他の信頼できる情報源で内容を確認し、専門家に相談することを推奨いたします。●AIの回答は、その時点で利用可能な情報に基づいて生成されており、最新の情報を反映していない可能性があります。生成される内容は、確率的なモデルに基づいているため、同じ質問でも異なる回答が生成される場合があります。特定の専門分野(医療、法律、財務など)に関する助言は、参考情報としてのみご利用ください。●AIとの対話内容は、サービスの品質向上のために利用される可能性があります。個人を特定できる情報や機密情報は、AIとの対話に使用しないようご注意ください。【商標について】●USB Type-C™およびUSB-C™は、USB Implementers Forumの商標です。●Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。●Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。●PinTILT™は、Letin AR Co.,Ltd.の商標です。●その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

ビジネス共創パートナープログラム

パートナー企業様とともにさまざまなソリューションを提供していきます。

dynaEdge XR1を使ったアプリケーション
開発を検討されている開発ベンダー様・Sier様
のお問い合わせはこちら

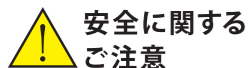


Dynabook株式会社

〒135-8505 東京都江東区豊洲5-6-15(NBF豊洲ガーデンフロント)



表示を正しく
家電公取協会員



安全に関する
ご注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず
取扱説明書の「安心してお使いいただくために」などを
よくお読みください。

このカタログの記載内容は2026年4月現在のものです。 管理番号 DBI-SL-011



2026年4月
透過型XRグラス

dynaEdge XR1



あなたの可能性を、
目の前に

※各画像はイメージです。



透過型レンズを通して現実を視認

透過型レンズに情報を表示することで、
現実空間に情報を溶け込ませ、さまざまなシーンで
コンピューティングの支援が受けられます。



詳細はWebで

かけた瞬間、 情報空間があなたの目の前に

人に寄り添う、真のコンピューティングを目指して

XRコントローラー dynaEdge C1

dynaEdge XR1専用のコントローラーデバイス。
dynaEdge XR1とUSB Type-C™で接続することで、
さまざまな機能を実現。

透過型XRグラス dynaEdge XR1

透過型レンズを備え、広い表示領域を確保。
スピーカー・マイクやカメラなどを装備。



主な活用シーン

※活用例のイメージです。

▶ ピッキング支援



製造業や物流現場での入庫・
出庫作業時、棚・物品の情報を
目の前に表示。作業の効率化を
実現し、省力化、省人化に貢献
します。

▶ マルチスクリーンでPC作業を



PCとの接続で、空間上にマルチ
スクリーンを表示。周囲からのぞ
かれる心配もありません。

▶ コミュニケーション



会話をリアルタイムで翻訳し、
字幕表示。異なる言語間でも
スムーズな会話が可能に。

▶ 地域の魅力を紹介



対象物や情景に関するガイド
を表示。インバウンド・観光
ビジネスへ。

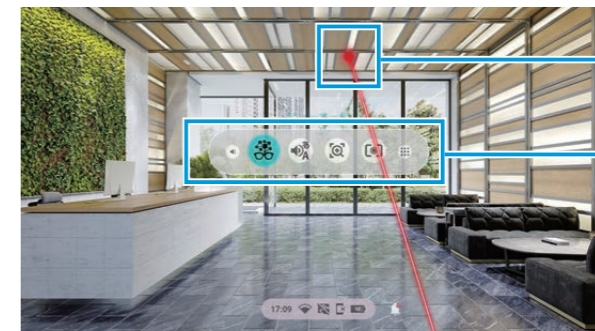
主な機能

POINT ①

直感的に操作できる XRコントローラー

空間上に浮かぶホームメニューやポインターを、
シーンに合わせて操作できます。

※XRコントローラー dynaEdge C1とスマホの初期設定が必要です。



ポインター

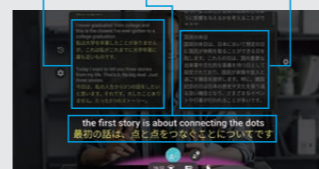
ホームメニュー

POINT ②

充実のAIアシスト機能

会話アシスト

過去の 現在の会話や 会話スムーズになる
会話ログ 翻訳を字幕で表示 ようなヒントを表示



コミュニケーションをサポート

AIが日本語と外国語の音声認識・翻訳
して日本語で字幕を表示したり、会話の
内容から会話のヒントを提供。

ビューサーチ



見えている風景やモノをAIが認識して表示

AIが正面に見えている景色や風景などの
特徴的な対象物などを文章で解説。選択
肢や音声でAIと対話することもできる。

ドキュメント要約



AIが文書を要約

AIが正面に見えている文書を要約。日本
語の文書を外国語へ翻訳・要約したり、
外国語の文書へ翻訳することができる。

ビジュアル翻訳

実際の景色



翻訳機能オン



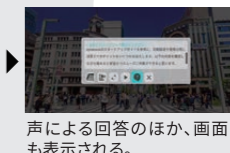
風景の中にある文字を翻訳

AIが正面に見えている景色の中の文字情報を日本語に
翻訳。景色に翻訳結果を重ね合わせた画像を提供。

音声質問



音声アイコンをクリックして、
音声で質問を行う。



声による回答のほか、画面に
も表示される。

AIに気軽に質問

気になることは、AIに音声で質問が可能。回答は目の
前に表示、スピーカーから音声でも伝えてくれる。

※AIアシスト機能を利用するには、dynaEdge XRクラウドAIサービスに登録が必要です。 ※別途通信環境が必要です。 ※AIアシスト機能は有償サービスとなります。

dynaEdge XR ワークスペース

透過型XRグラスをPCと接続することでXRグラスへ
仮想デスクトップを3画面まで表示することができる。

※「dynaEdge XRワークスペース」のアプリケーションを
Microsoft Storeよりインストールする必要があります。
※すべてのPCでの動作を保証するものではありません。
※一部の機能はアプリケーション内購入での提供となります。



※各画像はイメージです。